

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	中心市街地活性化対策事業		財務会計上の事業名	中心市街地活性化対策事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1071	1	財務会計上の短縮番号	4405	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第7節商業の活性化			
	項目	項目1地域ブランドの確立			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進し、生活の向上及び経済の発展を図る。		
事業の対象 (誰を、何を)	中心市街地活性化事業を行う経済団体や商店会		
事業の手段・方法 (どのように)	空き店舗を活用した活性化事業などに係る経費の一部を支援する。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	池田市中心市街地活性化推進事業補助金交付要綱		

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		7,540		12,508		12,681		13,210		101.4%
主な内訳	補助金	5,726		5,726		5,726		9,726		100.0%
	負担金	1,800		1,800		1,800		1,800		100.0%
	委託料			4,968		3,542		1,642		71.3%
人件費(人・千円)		0.32	2,368	0.56	3,076	0.56	3,148	0.56	3,148	100.0%
内訳	正職員	0.32	2,368	0.36	2,736	0.36	2,808	0.36	2,808	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%
支出合計 A		9,908		15,584		15,829		16,358		101.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	9,908		15,584		15,829		16,358		101.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担なしのため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	計画策定業務は専門的な面があり、専門業者へ業務委託を行うことで効果的な事務運営が行える。		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	補助の交付に関する事業であり、アウトソーシングになじまない。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施支援団体	団体	5	5	5	5	5	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				活動団体数を確保し、中心市街地の活性化について一定の成果と知名度をあげている。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				補助団体の活動がメディアに取り上げられるなど、同事業の取り組みが社会から一定評価されているほか、中心市街地活性化基本計画策定についても、認定に向けた取り組みが順調に進んでいるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度	<input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	中心市街地活性化基本計画の策定に着手。初年度となる平成29年度には、基礎調査等を実施した。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	中心市街地活性化基本計画認定目標年度を令和2年度に変更。同計画の方向性も含めて、今後も継続して同計画認定に向けた取り組みを進める。	
現在抱える課題と対策	課題	今後策定予定の市のランドデザインに合わせ、早急に同計画の内容見直しに向けた調整等を進める必要がある。
	対策	市のめざすべき方向性について理解し、スケジュール調整を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	中心市街地活性化基本計画策定については、認定までのスケジュールの見直しを進める。中心市街地の活性化については、引き続き学生による商店街空き店舗活用事業(池田・石橋)などの支援を継続していくとともに、池田ブランド構築などの事業内容についても助言を行っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	商工業団体補助事業		財務会計上の事業名	商工業団体補助事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1072	1	財務会計上の短縮番号	4340	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第7節商業の活性化			
	項目	項目2経営の安定化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内商工業者の経営の合理化・近代化を促進し、商工業の振興と活性化を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	池田商工会議所等の商工業団体
事業の手段・方法 (どのように)	補助金を交付する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 27 年度～商工会議所) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市商工業団体補助金交付要綱

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,670		1,670		1,670		1,670		100.0%
主な内訳	補助金	1,670		1,670		1,670		1,670		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.11	814	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
内訳	正職員	0.11	814	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,484		2,278		2,294		2,294		100.7%
財源	国・府支出金	86		106		104				98.1%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,398		2,172		2,190		2,294		100.8%
一般財源比率 C÷A		96.5%		95.3%		95.5%		100.0%		100.1%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担なしのため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	各商工業団体の活動に対し補助金の交付に関する事業であり、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	商工会議所会員数	人	1318	1304	1290	1330	1300
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	商店街空き店舗数	店舗	76	70	71	60	65
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				会員数は目標付近を前後しており、空き店舗数の増減についても、目標に向けて減少傾向にある。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	補助金の効果を定量的な数値として把握するのは困難であるが、市内商工業の振興に活用されている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	池田市市場会連合会を、会の解散に伴い補助対象から除外した(130千円→0千円)	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	商工業の発展と経営の安定化、並びに市の活性化を図るために事業を継続していく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	空き店舗数を減らしつつも、入店者に継続して出店してもらうこと。
	対 策	池田商工会議所をはじめとする商工業団体が補助金を活用することで、各種団体の活動の活性、参加する商工業者の協力や意欲の向上を図り、市内で営業する事業者の定着を促進する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	池田商工会議所をはじめ、商工業団体を支援することで、市全体の事業者の育成、商工業の活性化につなげるため、今後も継続して支援を行う。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	商工業関係者表彰事業		財務会計上の事業名	商工業関係者表彰事業/ 委員報酬事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	1072	1	財務会計上の短縮番号	4345	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第7節商業の活性化			
	項目	項目2経営の安定化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	商工業者及び従業員の勤務意欲や資質の向上、能率の増進を図り、商工業の発展と地域産業の振興を推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内に所在する中小企業者及びその事業所に勤務する従業員
事業の手段・方法 (どのように)	池田商工会議所と共催で対象者を審査し、優良商工業者及び従業員を表彰する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 46 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市長および池田商工会議所会頭連名による商工業関係者表彰実施要領 池田市商工業関係者表彰審査会規則

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		168		163		184		194		112.9%
主な内訳	負担金	134		129		150		160		116.3%
	委員報酬	34		34		34		34		100.0%
人件費(人・千円)		0.20	1,480	0.22	1,377	0.22	1,411	0.22	1,411	100.0%
内訳	正職員	0.20	1,480	0.17	1,292	0.17	1,326	0.17	1,326	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.05	85	0.05	85	0.05	85	100.0%
支出合計 A		1,648		1,540		1,595		1,605		103.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,648		1,540		1,595		1,605		103.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なしのため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	優良商工業者及び従業員の推薦の事務は商工会議所が担当している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	公共性・中立性の観点から、審査業務については市が実施することが望ましいため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	商工業関係者の表彰	名	40	43	46	30	30	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				受賞者数は表彰枠(30名)を上回り続けている。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	表彰については、商工業者及び従業員にとって励みになるため、予算の範囲内で工夫し多くの受賞者を輩出しており、商工業の振興を推進できている。また、商工会議所との連携により、可能な限り事業費を抑制できている。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	商工業関係者表彰審査会の委員数を1名削減。6名→5名	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内の商工業関係者の意欲向上、ひいては地域産業振興のため、今後も継続して商工業の発展への功績に対し表彰・奨励を行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	受賞者数だけに注目せず、受賞者の質の確保が課題である。
	対 策	推薦及び審査の段階で、高次元での質を追求した表彰制度を意識し取り組む。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市と会議所での共催で実施しているところは北摂では本市のみとなっており、受賞対象者も団体によって差がある。共催実施として受賞者の審査については、相互の表彰にふさわしい方を審査会で慎重に行い、表彰していく必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	商業活動活性化事業(商業祭)		財務会計上の事業名	商業活動活性化事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1073	1	財務会計上の短縮番号	4400	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第7節商業の活性化			
	項目	項目3多様な商圏の確立			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内商業の活性化と地域振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市内商業団体
事業の手段・方法(どのように)	商業祭の開催に係る費用の一部を支援する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市商業活動活性化事業補助金交付要領

2 事業費等

区分		28年度(決算)		29年度(決算)		30年度(決算)		元年度(予算)		H30/H29
事業費(千円)		1,200		870		1,200		1,400		137.9%
主な内訳	補助金	1,200		870		1,200		1,400		137.9%
										-
人件費(人・千円)		0.25	1,850	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
内訳	正職員	0.25	1,850	0.08	608	0.08	624	0.08	624	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,050		1,478		1,824		2,024		123.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,050		1,478		1,824		2,024		123.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担なしのため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	補助の交付に関する事業であり、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値(H30)	元年度(予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	出店数	店	20	9	7	20	10	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	来場者	人	7000	2500	33000	7000	10000	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				平成29年度は台風により大部分が中止となり、来場者数が減少。しかし、平成30年度は出店数こそ前年度を下回ったが、来場者数においては約13倍の増加となったため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				商業祭のほか、市域に数々存在する商業団体の催しと連携することで目標値を大きく上回ったため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	補助金額の増額(1,200千円⇒1,400千円)	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	池田市域の商業の活性化及び地域の賑わいの創出に寄与しており、以後も継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課題	出店数の増加と池田市域全体の個店の売り上げ増加に繋がるような仕組みの検討。
	対策	商業祭実行委員会に対し、上記課題について検討いただく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	商業祭の地元事業者の出店数や来場者について、池田市全域に効果のあるものとするなど、今後の実行委員会の事業展開について注視していく必要がある。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性化課		担当課長名	楠田 慎太郎	
(※)第2期実施計画の事業名	商業活性化イベント事業		財務会計上の事業名	商業活性化イベント事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1073	1	財務会計上の短縮番号	4425	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第7節商業の活性化			
	項目	項目3多様な商圏の確立			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内商業の活性化と地域振興を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市内商業団体
事業の手段・方法 (どのように)	商業の活性化を目的としたイベントに対して経費の一部を助成する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市商業活性化イベント事業補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		753		1,495		420		900		28.1%
主な 内訳	補助金	753		1,495		420		900		28.1%
										-
人件費(人・千円)		0.26	1,924	0.16	1,216	0.16	1,248	0.16	1,248	100.0%
内 訳	正職員	0.26	1,924	0.16	1,216	0.16	1,248	0.16	1,248	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,677		2,711		1,668		2,148		61.5%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,677		2,711		1,668		2,148		61.5%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なしのため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	店舗回遊型商業活性化イベント(バルなど)の補助に係る窓口を池田商工会議所へ移管(1本化)。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	補助金の交付に関する事業であり、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	事業実施団体数	団体	7	5	3	7	6	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				平成28年度に商工会議所に一部を移管したことにより、直接の補助対象が減少したものの、市域で開催されるイベントは一定数以上を保っているため。なお、平成30年度については台風の影響により中止となったイベントが発生したため、実施団体数が減となっている。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついて言及して記入)	地域に密着したイベントに対し補助することで、商業者の地域活動が促進され、その先には商業の活性化に繋がると考えるが、予算に限りがあるため、同制度の周知が難しく、補助対象団体の固定化が進んでいる。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	従来、事業の対象に含まれていた店舗回遊型商業活性化イベントへの補助を商工会議所に移管し、別事業化したため、その分の予算額を減額した。	
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	池田市商業振興条例で定める、地域のにぎわいの創出に関するイベントに対し、補助を行う。	
現在抱える課題 とその対策	課 題	イベントの実施メンバーの高齢化や広がりが課題である。
	対 策	市が一部の費用を負担し、継続したイベントを開催することで、商業者間のつながりが広がることを期待する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市内の商業活性化のため、申請内容を精査しながら、引き続き池田市商業振興条例で定める補助を行っていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部にぎわい戦略室地域活性課	担当課長名	楠田 慎太郎
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	池田駅周辺エリア回遊推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4513
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第7節商業の活性化	
	項目	項目3多様な商圏の確立	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	観光消費の増加につなげる。
事業の対象 (誰を、何を)	本市への来訪者
事業の手段・方法 (どのように)	ゲストインフォメーションを運営し、回遊を促進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	地方創生推進交付金制度要綱(～30年度まで)

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		4,000		55,367		52,174		22,093		94.2%
主な内訳	委託料	4,000		54,800		50,100		20,000		91.4%
	使用料及び賃借料			567		2,074		2,093		365.8%
人件費(人・千円)		0.05	370	0.40	3,040	0.40	3,120	0.35	2,730	100.0%
内訳	正職員	0.05	370	0.40	3,040	0.40	3,120	0.35	2,730	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,370		58,407		55,294		24,823		94.7%
財源	国・府支出金	2,000		27,400		26,086				95.2%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,370		31,007		29,208		24,823		94.2%
一般財源比率 C÷A		54.2%		53.1%		52.8%		100.0%		99.5%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なしのため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	まちづくり会社に委託を行い、サービスの向上と事務の簡略化を実現している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現在、事業の大部分を委託しているが、意思決定等は市も参与する必要があると考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	池田版DMO構築事業プロポーザル	回	1	0	0	0	0	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ゲストインフォメーション利用者数	人	-	7,104	53,989	66,000	66,000	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				利用者数は順調に増えている。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	ゲストインフォメーションの利用者に対し、本市のPRを実施できているが、DMOについては全国の事例をみても自立自走できているケースは少なく、本市も例に漏れず、実施主体の決定、収益事業の構築について、まだまだ検討が必要である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	ゲストインフォメーションを運営しつつ、収益事業についても取り組んでいく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	ゲストインフォメーションの運営にかかる費用及び収益事業の確立。
	対 策	ゲストインフォメーションの効率的な運用について検討する。収益事業については、長期的な取り組みとして進めていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成30年度で交付金が終了したため、その後の運営にかかる費用や事業については検討が必要。	